

# 平成13年度第2回内分泌攪乱化学物質問題検討会

## 議事次第

日時：平成13年10月3日（水）

10:00～12:00

場所：東条インペリアルパレス

### 1 開会

### 2 環境保健部長挨拶

### 3 議題

(1) 平成12年度内分泌攪乱化学物質に係る環境実態調査結果について

(2) ヒト精巢の継続的調査及び臍帯におけるダイオキシン類等化学物質の蓄積・暴露状況調査について

(3) 平成13年度に新たにリスク評価に取り組む物質について

(4) その他

### 4 閉会

## 配付資料一覧

- 1 平成13年度第1回内分泌攪乱化学物質問題検討会議事要旨.....資料1
- 2 平成12年度水環境中の内分泌攪乱化学物質（いわゆる環境ホルモン）  
実態調査結果.....資料2
- 3 平成12年度農薬の環境動態調査の結果について.....資料3
- 4 内分泌攪乱化学物質による野生生物影響実態調査結果  
（平成11・12年度実施分） .....資料4
- 5 平成12年度環境負荷量調査の結果について.....資料5
- 6 平成12年度内分泌攪乱化学物質大気環境調査結果について.....資料6
- 7 ヒト精巢の継続的調査及び臍帯におけるダイオキシン類等化学物質の  
蓄積・暴露状況調査について .....資料7
- 8 平成13年度に新たにリスク評価に取り組む物質について.....資料8
  - 文献調査・信頼性評価の結果 .....別紙1
  - 被験物質について .....別紙2
- 9 内分泌攪乱化学物質の人健康及び魚類等への影響評価の試験体系等の  
概況について .....資料9

### < 参考資料 >

- 内分泌攪乱化学物質の魚類等への影響評価のための試験体系の概況  
について-----参考1-1  
（平成12年度第3回内分泌攪乱化学物質問題検討会資料（平成13年3月14日））
- 内分泌攪乱化学物質の人健康影響評価のための試験体系の概況  
について-----参考1-2  
（平成12年度第3回内分泌攪乱化学物質問題検討会資料（平成13年3月14日））
- 第4回内分泌攪乱化学物質問題に関する国際シンポジウムのリーフレット-----参考2

## 内分泌攪乱化学物質問題検討会委員名簿

有菌 幸司	熊本県立大学環境共生学部教授
井口 泰泉	岡崎国立共同研究機構統合バイオサイエンスセンター教授
井上 達	国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター長
岩本 晃明	聖マリアンナ医科大学医学部教授
大島 康行	(財)自然環境研究センター理事長
小野 勇一	九州大学名誉教授
角田 禮子	主婦連合会参与
梶野 忠	神奈川県環境農政部技監
香山 不二雄	自治医科大学保健科学講座教授
鈴木 継美	東京大学名誉教授
住吉 好雄	(財)神奈川県労働衛生福祉協会理事
高杉 暹	横浜市教育委員会委員長
田辺 信介	愛媛大学沿岸環境科学研究センター教授
坪田 敏男	岐阜大学農学部助教授
遠山 千春	国立環境研究所環境健康研究領域長
本城 凡夫	九州大学大学院農学研究院教授
増井 光子	横浜動物園園長
松尾 昌・	(株)住友化学研究主幹
宮本 純之	国際純正応用化学連合「化学と環境」部会 前部会長
村田 幸雄	(財)世界自然保護基金ジャパン・シニアオフィサー
森 千里	千葉大学大学院医学研究院教授
森田 昌敏	国立環境研究所統括研究官
安野 正之	滋賀県立大学環境科学部教授
山口 直人	国立がんセンターがん情報研究部長
若林 明子	東京都環境科学研究所基盤研究部長
渡辺 正孝	国立環境研究所水圏環境研究領域長